

第39回 一日舞踊大学講座2021 ダンスと教育

現代舞踊協会研究企画部では、未来の文化を担う次世代の若者に視点を繋ぎます

今こそ、生命のための舞踊を追求し未来に橋をかけよう！

山田うん

コンテンポラリーダンスワークショップ

世界中を飛び回り、コンテンポラリーダンス界の第一線を走り続けている山田うんと踊り、創り、語る、貴重な一日です。

2021.3/13 [土]

9時50分～17時00分 (9時20分より受付)

スタジオF (旧 美二三枝子舞踊研究所)

当協会は、新型コロナウイルス感染防止対策をできる限り施して開催いたします。検温、マスクの着用などご協力をお願いします。体調の悪い方は、参加をご遠慮ください。

豊島区目白2-12-4
JR山手線「目白駅」
より徒歩5分



●ワークショップ

「山田うん流
自由な身体を作り、動きを生み出すワーク」

山田うん

●そこが知りたい海外研修 大橋美帆

●座談会

「コロナ禍に学ぶ、舞踊の意義、
コンテンポラリーダンスの現在と未来の展望」

山田うん 唐津絵理 高橋森彦 加藤みや子

●参加者によるグループワークのデモンストレーション

主催：一般社団法人現代舞踊協会

企画・制作：研究企画部 (加藤みや子 馬場ひかり 藤井香 細川麻実子)

〈山田うん〉、いちど聞いたら忘れられない名前だ。踊り手として、柔軟でバネのある強靱な身体が語る踊りは説得力があり、高い身体能力の持ち主であると共に、コレオグラファーとして、動きの構築、空間構成など、振付の全ての要素におけるその卓越した才能で、瞬間に、コンテンポラリーダンス界で頭角を現し、数多くの賞も受賞、多くのファンがいる。カンパニーを結成して20年になるというが、特にここ数年の活躍はめざましいものがある。カンパニー公演では、ダンサーを極限にまで追い込むような超絶テクニックと、疾走感、動きを重ねてビルトアップする高揚感、そこには、彼女の妥協しないストイックさ、プロとしての覚悟、厳しさ、知性が感じられる作品が多く、魅力的だ。抽象的な表現の中に人間ドラマが見えてくる動きのセンスは抜群である。一方、子ども向けのミュージカルドラマ、『あらしのよるに』の振付では、ほっこりとしたメルヘンの世界を見事に描き、最近では、如月小春作「NIPPON・CHA! CHA! CHA!」演劇の演出も手掛け、昨年は、金沢21世紀美術館との提携でダンスムービー『みぎわ』を制作し、配信するなど、活動の幅は広く、常に新しい挑戦を続けている。また、平成28年度文化庁文化交流使として、世界各国で、ワークショップや、公演など、交流を行ってきた。任を終え、アーティストとして、ますます大きく栄養を蓄え、今後が楽しみな舞踊家である。これまで、アウトリーチの仕事も数多く行っており、ノンダンサーのための指導の中でも、舞踊の尊さを伝えてきた。昨年、現代舞踊協会より、江口隆哉賞を受賞。受賞のことばとして書かれた文章の一部を、ここに引用する。山田うんの魅力を紐解くヒントがあり、大いに共感したので、皆様と共有したいと思う。

「私にとって舞踊を生み出すことは、自然と秩序と混沌の中で、自由を生成することです。生命のための舞踊を追求し、未来に橋を架けられるような領域へ、恐れず、丁寧に、大胆に、精進していきたくと思います。どんな困難な時代でも、どんな平和な時代でも、太古からそうであるように、舞踊は尊い表現として存在し続けなくてはならないと思っています。これまでもそうであったように、これからも、無力な踊りなど一つもないのですから。」

10:00~12:20 ワークショップとデモンストレーション

山田うんの身体表現 講師：山田うん

12:20~13:00

そこが知りたい海外研修 報告者：大橋美帆（イスラエル）

14:00~15:30 座談会

コロナ禍に学ぶ、舞踊の意義、
コンテンポラリーダンスの現在と未来の展望

パネラー：山田うん 唐津絵理 高橋森彦 加藤みや子

15:30~16:45 受講者によるデモンストレーション

2021. 3/13 [土] 定員40名（定員になり次第締め切り）
参加費… 一般 4,500円 協会員 4,000円 学生3,500円（半日参加 3,000円）

●申込方法

現代舞踊協会

検索

Webからのお申し込みは、現代舞踊協会ホームページ内「一日舞踊大学講座」の申込フォームより送信ください。

FAX 03-5457-7732

FAXからのお申し込みは、下記申込用紙に全項目を読みやすい文字で明記の上、左記FAX番号へ送信ください。



山田うん（振付家・ダンサー）

器械体操、バレエ、舞踏などを経て1996年～振付家としてダンス作品を発表し始める。2002年ダンスカンパニー＜Co.山田うん＞を設立。常に十数人の気鋭ダンサーが所属し、世界各地でのツアーやワークショップを展開している。近年はレストラン、ファッションとのコラボレーション、また、演劇の演出を行う。平成26年第8回日本ダンスフォーラム大賞受賞。平成26年度東アジア文化交流使として北京公演とダンス普及活動。平成26年度第65回芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞。平成28年度文化庁文化交流使として11カ国23都市で国立芸術大学や国立バレエ団に招かれワークショップや交流事業などを実施。令和元年第37回江口隆哉賞受賞。
<https://www.unyamada-co.com>



唐津絵理

お茶の水女子大学文教育学部舞踊教育学科卒業、同大学院人文科学研究科修了。舞台活動を経て、93年より日本初舞踊学芸員として愛知芸術文化センター勤務。14年より現職。10年～16年あいとりエンターレのキュレーター。文化庁文化審議会文化政策部会委員、全国公立文化施設協会コーディネーター、企業の文化財団理事やメセナ活動のアドバイザー、第65回舞踊学会大会実行委員長、大学の非常勤講師等を歴任。日本の舞台芸術や劇場の環境整備のための様々な活動を行っている。

photo:Takayuki Abe



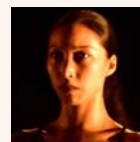
高橋森彦

舞踊評論家。第12回日本ダンス評論賞佳作受賞後04年よりバレエ、ダンスを中心に舞台芸術の評論活動を始め。新聞や専門媒体に舞踊評を執筆すると共に解説や紹介記事、インタビューも手がけ、公演プログラム、広報雑誌、Web媒体、単行本、ムック、年鑑、会報等に寄稿。これまでに江口隆哉賞選考委員、埼玉全国舞踊コンクール、全日本高校・大学ダンスフェスティバル（神戸）創作コンクール部門等の審査員を歴任する。



加藤みや子

加藤みや子ダンススペース主宰。森嘉子、藤井公、利子に師事。仏・パニョレコンテ、伯・巡回公演（国際交流基金主催事業）、米・フェスティバル巡演等に招聘され高く評価される。83年よりアネックス仙川ファクトリーを拠点に各地で五感を開くワークショップやアーティスト交流の場、HHWを開催。江口隆哉賞、ニムラ舞踊賞など受賞。現代舞踊協会常務理事。日本大学藝術学部非常勤講師。



大橋美帆

1990年生まれ。3歳より谷乃梨絵に師事しモダンダンスを始め。日本大学藝術学部に進学しダンスと創作について学ぶ。卒業時に学部長賞を受賞。卒業後は谷乃梨絵を始め国内外の振付家の作品に出演する他、作品の創作活動を続け、平成30年度新進芸術家海外研修制度研修員として一年間イスラエルへ留学。平成23年度現代舞踊協会制定新人振付賞受賞。第48回埼玉全国舞踊コンクール現代舞踊成人の部第1位。第5回DANCE CREATION AWARD 創作シニア部門第1位。

photo:Nurit Peled

主催：（一社）現代舞踊協会

企画・制作：研究企画部（加藤みや子 馬場ひかり 藤井香 細川麻実子）

●申込締切 3月9日（火）

●お問い合わせ（一社）現代舞踊協会事務局

〒150-0021 渋谷区恵比寿西1-21-3

グレイス代官山402号 TEL.03-5457-7731

一日舞踊大学講座申込書

フリガナ

氏名

住所 〒

*協会員で「舞踊指導者認定」申込の方は右に○をして下さい。 認定申込

*ダンスプラン出演者の方は右に○をして下さい。 ダンスプラン出演者

所属研究所／舞踊団

（○をお付け下さい）

一般／協会員／学生・高校生／半日参加

TEL

FAX

E-mail

*携帯でも可ですが、諸連絡の都合上、できるだけパソコンのアドレスをご記入下さい。